小学校第６学年【国　語】

全体的な傾向

○ 学習指導要領の領域等では、「書くこと」において、「文章の内容にあわせて小見出しを書く」などの問題の達成状況は、高いといえる。
○答案の形式において、自分の意見や提案、理由や根拠、紹介や報告などをまとめ、一定以上の文字数で記述する問題について、課題が見られる。

■ 問題Ａ　主として「知識」に関する問題

○「話すこと・聞くこと」
　問題　7　「司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進める」については、おおむね達成している。

○「読むこと」
　問題　6　「段落の内容を的確に捉える」については、おおむね達成している。

○ 「言語事項」
　問題　2　「『くすり・たべもの』をローマ字で書くことができるかどうかを見る」は、おおむね達成している。本市が取り組んできた小学校の英語教育において、日頃からアルファベットに触れる機会が多くなり、抵抗感が少なくなっていると考えられる。
　問題　8　「文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って一文を二文に分けて書くことができるかどうかを見る」に課題が見られる。

☆ 一つの内容を一つの文に簡潔に書いたり、必要に応じて二つ以上の内容を一つの文にまとめて書いたりする指導が大切です。

■ 問題Ｂ　主として「活用」に関する問題

○「話すこと・聞くこと」
　問題　4一　「目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す」の達成状況は高い。問題　2二　「自分の立場や意図を明確に話し合う」に課題が見られる。

☆ 調べたことやまとめたことを話題として取り上げ、互いの考えを出し合って討論する言語活動を充実することが重要です。調べたことやまとめたことについて討論するためには、本や文章を調べたりインタビューやアンケートを行ったりして、自分なりに幅広く考え、資料を用意しておくことが必要です。

○「書くこと」
　問題　1一　「報告文を読み、メモの中に調べた内容の１つ目を書く」に課題が見られる。

☆ 報告文を書くためには、目的や意図に応じて調べ、事実にもとづいて分かったことや考えたことを書く必要があます。そのためには、自分の意見の根拠となった事実と自分の意見そのものとを区別して書く指導が大切です。